

議案第 48 号

つくば市介護保険条例の一部を改正する条例について

上記の議案を次のとおり提出する。

令和 4 年 6 月 9 日

つくば市長 五 十 嵐 立 青

つくば市介護保険条例の一部を改正する条例

つくば市介護保険条例（平成12年つくば市条例第36号）の一部を次のように改正する。

附則第11条第1項第2号中「及び附則第14条第1項第2号」を「、附則第14条第1項第2号及び附則第15条第1項第2号」に改める。

附則に次の1条を加える。

（新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等に係る令和4年度保険料の減免の特例）

第15条 令和3年度分及び令和4年度分の保険料であって、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に納期限（特別徴収の場合にあつては、特別徴収対象年金給付の支払日。以下この項において同じ。）が定められている保険料（第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に法第12条第1項の規定による届出が行われなかったため令和4年4月1日以降に納期限が定められている保険料であって、当該届出が第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に行われ

ていたならば同年4月1日前に納期限が定められるべきものを除く。)の減免については、次の各号のいずれかに該当する者は、第11条第1項に規定する保険料の減免の要件を満たすものとして、同項の規定を適用する。

(1) 新型コロナウイルス感染症により、第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者が死亡し、又は重篤な傷病を負ったこと。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者の事業収入等の減少が見込まれ、次のア及びイに掲げる要件のいずれにも該当すること。

ア 事業収入等のいずれかの減少額(保険金、損害賠償等により補填されるべき金額があるときは、当該金額を控除した額)が前年の当該事業収入等の額の10分の3以上であること。

イ 減少することが見込まれる事業収入等に係る所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であること。

2 前項の場合における第11条第2項の規定の適用については、同項中「普通徴収の方法により保険料を徴収されている者については納期限までに、特別徴収の方法により保険料を徴収されている者については特別徴収対象年金給付の支払日」とあるのは、「令和5年3月31日」とする。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、改正後のつくば市介護保険条例の規定は、令和4年4月1日から適用する。

(提案理由)

新型コロナウイルス感染症により経済的に影響を受けた者に対する保険料減免を継続して行うため、この条例案を提出するものである。

つくば市介護保険条例（平成12年つくば市条例第36号）新旧対照表

| 改正後 | 改正前 |
|---|--|
| <p>本則（略）</p> <p>附 則</p> <p>第1条—第10条（略）</p> <p>（新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等に係る令和2年度保険料の減免の特例）</p> <p>第11条 令和元年度分及び令和2年度分の保険料であって、令和2年2月1日から令和3年3月31日までの間に納期限（特別徴収の場合にあつては、特別徴収対象年金給付の支払日。以下この項において同じ。）が定められている保険料（第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に法第12条第1項の規定による届出が行われなかったため令和2年2月1日以降に納期限が定められている保険料であつて、当該届出が第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に行われていたならば同年2月1日前に納期限が定められるべきものを除く。）の減免については、次の各号のいずれかに該当する者は、第11条第1項に規定する保険料の減免の要件を満たすものとして、同項の規定を適用する。</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者の事業収入、不動産収入、山林収入又は給与収入（以下この号、<u>附則第14条第1項第2号及び附則第15条第1項第2号</u>において「事業収入等」という。）の減少が見込まれ、次のア及びイに掲げる要件のいずれにも該当すること。</p> <p>ア・イ（略）</p> <p>2（略）</p> | <p>本則（略）</p> <p>附 則</p> <p>第1条—第10条（略）</p> <p>（新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等に係る令和2年度保険料の減免の特例）</p> <p>第11条 令和元年度分及び令和2年度分の保険料であつて、令和2年2月1日から令和3年3月31日までの間に納期限（特別徴収の場合にあつては、特別徴収対象年金給付の支払日。以下この項において同じ。）が定められている保険料（第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に法第12条第1項の規定による届出が行われなかったため令和2年2月1日以降に納期限が定められている保険料であつて、当該届出が第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に行われていたならば同年2月1日前に納期限が定められるべきものを除く。）の減免については、次の各号のいずれかに該当する者は、第11条第1項に規定する保険料の減免の要件を満たすものとして、同項の規定を適用する。</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者の事業収入、不動産収入、山林収入又は給与収入（以下この号<u>及び附則第14条第1項第2号</u>において「事業収入等」という。）の減少が見込まれ、次のア及びイに掲げる要件のいずれにも該当すること。</p> <p>ア・イ（略）</p> <p>2（略）</p> |

第12条—第14条 (略)

(新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等に係る令和4年度保険料の減免の特例)

第15条 令和3年度分及び令和4年度分の保険料であって、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に納期限(特別徴収の場合にあつては、特別徴収対象年金給付の支払日。以下この項において同じ。)が定められている保険料(第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に法第12条第1項の規定による届出が行われなかったため令和4年4月1日以降に納期限が定められている保険料であつて、当該届出が第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に行われていたならば同年4月1日前に納期限が定められるべきものを除く。)の減免については、次の各号のいずれかに該当する者は、第11条第1項に規定する保険料の減免の要件を満たすものとして、同項の規定を適用する。

(1) 新型コロナウイルス感染症により、第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者が死亡し、又は重篤な傷病を負ったこと。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者の事業収入等の減少が見込まれ、次のア及びイに掲げる要件のいずれにも該当すること。

ア 事業収入等のいずれかの減少額(保険金、損害賠償等により補填されるべき金額があるときは、当該金額を控除した額)が前年の当該事業収入等の額の10分の3以上であること。

イ 減少することが見込まれる事業収入等に係る所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であること。

2 前項の場合における第11条第2項の規定の適用については、同項中「普通徴収の方法により保険料を徴収されている者については納期限までに、特別徴収の方法により保険料を徴収されている者については特別徴収対象年金給付の支払日」とあるのは、「令和5年3月31日」とする。

第12条—第14条 (略)